

## 人材が育つ社会を目指して



板東氏

平成10年から2年間、秋田県副知事として活躍され、現在、内閣府男女共同参画局長の板東久美子氏を招いた講演会が11月17日、角館樺細工伝承館で開催されました。主催は、角館高校同窓会「若杉会」と角館南高校同窓会「駒草会」。

板東氏は、角館から鷹巣町（現北秋田市）までを走る100キロチャレンジマラソンに5回出場したという鉄人ランナーとしても知られ、角館には何度も訪れ親しみを感じるとのことです。

「人材が育つ社会を目指して」と題した講演では、OECD（経済協力開発機構）のPISA調査（生徒の学習到達度調査）を基に、諸外国に比べ日本の子どもの学習時間が短いこと、読解力が低い、自分の考えを表現することが弱いなどを指摘。学力以前に取り組む姿勢、意欲、習慣を身に付けることが大切、自分で考え、自分で判断する「生きる力」を育てることが重要と訴えていました。

また、秋田県については、「すばらしい資質と風土に恵まれている。ただ、全体的に謙虚であり、前に踏み込むことに弱いように思える。もっとアピールし、打って出る人材の育成、多様性を育むことが必要。女性の活用や育成もその一つである。若い人をもっと前に出し、リーダーを育成するよう地域全体で後押ししてほしい」と話していました。

## 秋田県市町村男女共同参画計画策定記念フォーラム



11月18日、県内の全市町村で男女共同参画計画が策定されたことを記念し、秋田県庁第2庁舎でフォーラムが開催されました。フォーラムでは、元秋田県副知事で内閣府男女共同参画局長の板東久美子氏が「男女共同参画社会の実現に向けて—市町村と住民の協働」と題して講演を行いました。「計画ができたことで、これからは心を入れて、行政と住民が一緒になって男女共同参画を推進していただきたい」と話されました。また、「パートナーシップで進めるまちづくり」と題したパネルディスカッションでは、石黒市長などがパネリストを務めたほか、コーディネーターは、あきたF・F推進員で仙北市男女共同参画推進委員会会長の坂本佐穂さんが務め、活発に議論をしました。仙北市では今後、計画策定を契機にいろいろな面で男女共同参画を推進していくことにしています。

## 園児がケーキ作りを体験 角館菓子工業組合

11月15日、角館菓子工業組合（組合長・佐々木正昭）の組合員のみなさんが角館保育園を訪れ、ケーキづくりの実演と試食会を行いました。

手際よく次々と出来上がるケーキづくりを見学したあと、年長組の56人は実際にケーキづくりに挑戦。生クリームを塗ったり、バナナを飾り付けるなど、みんな笑顔で楽しいケーキづくりを体験しました。出来上がったケーキはみんなで試食。いつもとひと味違う手作りのケーキの味を楽しみました。

組合長の佐々木さんは、「お菓子づくりを見学、体験してもらい、もっとお菓子に興味を持ってもらいたい」と、園児たちの明るい笑顔に目を細めながら話していました。



もう待ちきれず、のぞき込む園児もいました



## 庖和会がたざわこ清眺苑を慰問

11月20日、田沢湖調理師庖和会（斉藤忠一会長）の会員がたざわこ清眺苑を訪れ、入所者のみなさんに山の芋鍋をごちそうしました。

斉藤会長から「寒い時期においしい山の芋鍋を食べ、元気に冬を過ごしてもらいたい。これは私たちからのささやかなプレゼントです」とあいさつがあり、5名の会員が持参した山の芋などを調理し昼食として振る舞いました。おかわりする人もいたなど、みなさんおいしそうに食べていました。